



図書日和

2018年10月号
鹿児島中央高等学校図書館
平成30年10月26日発行

秋も深まり、紅葉がきれいな季節になりました。秋は、「〇〇の秋」とたとえられるように、涼しさが気持ちよく感じられ、何をするにもいい季節です。「読書の秋」の由来は、「秋の涼しさと夜長は、灯火の下で読書をするのに適している」と表現した、中国唐代の文人韓愈の詩の一節「燈火稍可親」とされています。

明日10月27日(土)から11月9日(金)は、読書週間です。図書委員会では、いろいろな本との出会いのきっかけとなるよう、興味深くワクワクするような本の展示やイベントを企画しています。ぜひ、図書館へ来てください。

私が薦める一冊の本 地歴公民科 牧之瀬義広 先生

『経済ってそういうことだったのか会議』

佐藤雅彦・竹中平蔵 著 日本経済新聞出版社

「旅行のお供」として何気なく手にした一冊でしたが、経済学の入門書として最適の著書です。

著者は佐藤雅彦さんと竹中平蔵さん。佐藤雅彦さんは「バザールでござーる」など、一部の世代(アラフォー以上なら…)には有名なCMや、「だんご三兄弟」、「ピタゴラスイッチ」などの企画にも携わっているクリエイティブディレクターで、竹中平蔵さんは、経済に関係する様々な大臣を歴任した「経済のスペシャリスト」です。

本書はお二人が対談を進める形で書かれており読みやすく、経済の基礎から2000年代までの経済の動きについての理解を深めることができます。また、初版発行の2002年時点で、現在までの経済の流れの予想を一部分的中させているなど、著者の経済への理解の深さや感覚の鋭さを感じさせます。

「社会」や「世界」の流れにただ流されるままに生きるのか、その流れを「感じて」生きるのかで人生の味わいも大きく変わると思います。「経済」という「世の中の流れ・うねり」を理解することも、人生を面白くするきっかけにもなると思います。ぜひ御一読を。

*この本は、図書館に所蔵しています。

ラベル表示



読書週間を楽しもう! part1 ワークショップ&ブックトーク



ようこそ、絵本の世界へ!

絵本の世界を楽しみましょう。気持ちをリフレッシュ!

- ◎10月29日(月) 昼休み 12:35~13:55 絵本をトーク!絵本は、楽しい?怖い?
- ◎11月 5日(月) 昼休み 12:55~13:15 この絵本、あそこ読んだかな?絵本の紹介&展示

ワークショップ

みんなで楽しみましょう! *②と③に参加する人は、自分の本を持ってきてください。

- ◎10月30日(火) 昼休み 12:35~13:55
 - ①『使うのが楽しみ!かわい〜しおり』 読書するのが楽しくなるようなしおりを作りましょう。(何人でも)
 - ②『すてき!私のブックカバー』 自分の文庫本や単語帳などサイズに合わせて作れます。(先着20名)
 - ③『私にもできた!フィルムコート』 コートすると、本は丈夫でいつまでもきれいです。(先着20名)

一冊の本のことを皆さんに伝えます

高校生ビブリオバトル大会で発表しました!

- ◎11月8日(木) 昼休み 12:55 ~13:15
鹿児島市・鹿児島県高校生ビブリオバトル大会で発表した2人による本の紹介をします。「ビブリオバトルってどうやるの?」と思っている皆さんには、やり方や楽しさ、そして県や市の大会のようすをわかりやすく伝えます。

9月の貸出統計

1年 70冊 2年 46冊 3年 89冊 合計 205冊

学年	1年								2年								3年							
	組	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7
貸出数	11	9	0	4	2	26	16	2	4	0	0	16	7	11	3	5	4	24	0	3	43	2	4	9
合計	70								46								89							

全国読書週間 10/27(土)～11月9日(金)

読書標語 「ホッと一息 本と一息」



『本を読む本』

M.J.アドラー・C.V.ドレーン 著 外山滋比古 榎未知子 訳

「ここに一冊の本があり、ひとりの読者がいるとしよう。その読者が最初にするのは何か。自分がその本を本当に読みたいかどうか、その読者はわかっていない。また、念を入れて分析的に読むだけの値打ちがあるのかどうかもわかっていない。(中略) こういうときにしなければならないのは、組織的な拾い読み、下読みである。これを習慣づけるのにたいしてひまはかからない。ヒントをいくつかあげよう。……」(点検読書の頁から抜粋)

点検読書をするだけでも、なんとなくとおして読んだ時の同じくらいの情報を得ることができ、ここから更に精読するための準備にもなると言われています。“意外とできていない本探し”を実感したときに参考になる本です。

「新書」を活用していますか？

図書館にある「新書」。皆さんの中には、もう使い慣れていますよと言う人もいるでしょう。新しく買った本のことではありません、出版物の形式の一つで、新書判の略。B6判よりやや小さめの17cmくらいあります。コンパクトで手軽に読めるようになっており、今、社会で起きていることや話題になっていることがわかり、小論文対策や国語の評論文を読むときなどにも役立つと言われています。図書館では、法律系、人文系、経済系、社会系、教育・保育系、医療系、理学・工学系、芸術系その他幅広く収集しています。新書コーナーに、NDC(日本十進分類法)に基づいて、分類番号順に並べてあります。あらゆる分野のまとまった知識を得ることができるので、たくさんの新書を活用してください。

読書週間を楽しもう！ part2 図書館で知的にクールダウン

展示「この本、読んでみませんか！」

10月29日(月)～11月9日(金)

図書委員のお薦めの本や今話題の本を“POP”や“本の帯”の紹介とともに展示します。「読んでみたい！」と思えるような本に出会えるかもしれません。“POP”や“本の帯”のメッセージとデザインも楽しんでください。



クイズにチャレンジしよう！

11月6日(火)～11月8日(木)

本や作家、図書館をはじめいろいろな内容のクイズにチャレンジしましょう。「そうなんだ～」「えっ、ほんと?」「今まで知らなかったな～」と声に出しながら、“知ること”を楽しんでください。



あとがき



牧之瀬先生のお薦めの本は、図書館のカウンターに置いてありますので、読んでみましょう。さあ、明日から読書週間です。この期間中に、多くの本を紹介しますので読書に親しんでください。
 <図書委員会から>
 図書委員会のイベントや展示などが、皆さんの本との出会いや読書に親しむきっかけになればうれしいです。たくさん生徒の皆さんや先生方の来館を待っています。